

日 時： 令 和 7 年 6 月 9 日（月）

1 4 時～ 1 5 時 5 0 分

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

令和 7 年度より和光特別支援学校が委員として参加。

4 協議・意見交換等

（1）障害福祉課相談支援担当より福祉計画および自立支援協議会の目的

障害福祉課相談支援担当より福祉計画および自立支援協議会の目的の説明を実施。

（2）医療的ケア児等コーディネーター連絡会について

昨年度まではワーキングチームとして実施してきたが、今年度は連絡会を 5 月 23 日に実施。社会資源として「カリヨンの杜」の情報共有を行った。さらに事例発表を行い、医療的ケア児等コーディネーターとして、どのような動きや機能があるかを参加者で確認し、家族とコーディネーターの向き合い方や役割について、活発な意見交換ができた。参加者アンケートでは、事例に触れることができよかったなどの感想が多かった。次回以降、9 月頃を目安に施設見学を検討していく。また今後の連絡会への意見として、当事者の話を聞いていきたいという意見もあった。

連絡会の報告を受け、協議会での意見交換を実施。コーディネーターの役割について曖昧な部分があり、具体的に何が求められているのか等、この協議会で話し合っていく必要があるとの意見が挙げられた。コーディネーターの仕事について可視化・文字化していくなどの取り組みを協議会として検討していく。また、コーディネーターによる個々の差が生まれることも防がなければならず、連絡会の事例などを通して知識を深め、質の底上げ、担保を行っていく。

（3）令和 6 年度医療的ケア児実態調査について

令和 7 年 4 月 1 日現在、医療的ケア児数 122 名。うち令和 6 年実態調査で把握できた数 106 名。残り 16 名中 9 名については、回答はなかったが、令和 6 年度中に訪問、更新のための調査などで確認できた。7 名については現在継続的な確認ができていない。

令和 6 年度実態調査にいただいたご意見をカテゴリー分けし、各カテゴリーについて、コーディネーターの役割やサービスの支給方法、周知などに関して協議会で議論を行った。また、18 歳到達後の日中活動先について、医療的ケア者は生活介護事業所も少なく、受け入れ先が少ないことが課題として挙げられ、子ども部会だけでなく、日中活動部会との連携が必要なのではといった意見も挙げられた。障害福祉課より、今年度戸田かけはし高等特別支援学校の 1 年生から 3 年生の保護者へ向け、療育手帳担当から卒業に関する話をする機会を設けたところ、好評であったことについても報告を行った。

（4）その他

済生会川口総合病院より、コロナ禍以降実施できていなかったレスパイト入院について、今年度から病床が空いていれば実施していく方針となった旨の報告。

その他、医療的ケア児の受け入れの基準について、協議会で意見交換や情報共有を実施。

5 閉会